

平成26年度 神戸大学技術職員研修(集合研修)日程表

2014.08.05

期間：平成26年9月～平成27年3月 / 対象技術職員：72名 / 総合テーマ：「安全 - 危険予知と危機管理」

◆全体研修	9:00～ 9:20	9:20～ 9:30	9:20～ 9:40		9:50～ 10:50		11:00～ 12:00		13:00～ 14:00		14:10～ 16:10		16:20～ 17:10		17:30～ 19:30
9月19日(金) 理学部2棟 Z201教室・Z202教室 (18日15:00～設置可)	受付	閉講式 事務連絡	「講話」 学長 福田秀樹	会場準備	「講義1」 『産業保健におけるメンタルヘルス』 医学研究科 教授 西尾 久英	会場準備	「講義2」 『遺伝子組み換え技術をもちいた植物研究』 理学研究科 准教授 石崎公康	休憩	「講義3」 『危険予知による防災活動』 安全衛生・環境管理 統括室 特命教授 田邊 忠	会場準備	「業務・技術報告」 工学系:2件、 医学、海事、理学、 農学の各系:各1件 (15分+5分)×6件(★)	会場準備	「全体会議」 『平成27年度近畿 地区技術職員研 修について』	事務連絡	懇親会 瀬川記念 学術交流 会館(1F)

*) 工学系:中辻秀憲「CAMを利用した「ものづくり支援」までの取組み」、山本大介「システム情報学研究科での業務について」、医学系:早坂直美「C型肝炎のオーダーメイド治療」、海事系:井川晶裕「学外における実験計測について(仮)」、理学系:川本智「研究支援業務と受託サービスについて」、農学系:富士松雅樹「バレイショ新品種『はりまる』の育成」

◆分野別研修	コース番号 分野 『テーマ』 「会場」 (講師/担当) 等															
9月12日(金)	①	海事分野【講義・演習】『加速器と放射光』	『海事科学研究科』 (担当:野崎伸夫、鈴木俊晴、小川宏樹)													(海事科学研究科)
9月16日(火)	②	海事分野【施設見学】『加速器と放射光』	『SPring-8 大型放射光施設』 (担当:野崎伸夫、鈴木俊晴、小川宏樹)													(海事科学研究科)
9月18日(木)	③	医学分野【実習】『細胞診検査の実際』	『医学研究科』 (担当:久保福生)													(医学研究科)
9月30日(火)	④	医学分野【施設見学】『医療福祉に貢献するものづくり現場と大学博物館の役割を知る』	『川村義哉株式会社、大阪大学総合学術博物館』 (担当:藤 富義)													(医学研究科)
9月26日(金)	⑤	理学分野【施設見学】『セキュアな情報教育環境と通信基盤』	『情報基盤センター、NTT西日本データセンター』 (担当:北内一行)													(情報基盤センター)
9月17日(水)	⑥	工学分野【施設見学】『土木構造物、建築物の先端技術を知る』	『明石海峡大橋、福良港津波防災ステーション』 (担当:高麗憲志、中西智美)													(工学研究科)
9月25日(木)	⑦	工学分野【施設見学】『最新のレーザー加工技術と雷テクノロジーを知る』	『近畿高エネルギー加工技術研究所、音羽電機工業㈱』 (担当:古宇田由夫)													(工学研究科)
9月26日(金)	⑧	工学分野【実習】『プログラマブル多機能タイマーの製作』	『工学研究科』 (講師:松本香、山本大介、伊地知武吉)													(工学研究科)
10月2日(木)	⑨	工学分野【講習】『救命士・応急手当講習』	『自然科学研究科3号館』 (講師:神戸市消防局、担当:曾谷知弘、熊谷宜久)													(工学研究科)
11月中旬頃	⑩	農学分野(作物関係)【施設見学】『農業と土づくり』	『クミアイ化学工業(株)龍野工場、JA全農兵庫加西管理センター(仮)』 (担当:橋爪浩和、小関康史)													(農学研究科)
11月中旬～下旬頃	⑪	農学分野(果樹関係)【施設見学】『ブドウ、ナシの病害虫の防除と鳥獣対策』	『(仮)兵庫県農業技術センター、兵庫県森林動物研究センター』 (担当:寛重文)													(農学研究科)
11月中旬～下旬頃	⑫	農学分野(畜産関係)【施設見学】『但馬牛(神戸牛)の飼養管理技術』	『(仮)但馬地方の肥育農家と繁殖農家および兵庫県北部農業技術センター』 (担当:田中大輔)													(農学研究科)
2月～3月上旬頃	⑬	農学分野『(未定)』	『食資源教育研究センター』 (担当:寛重文)													(農学研究科)

(注) 1) 全体研修の受講は必修とします。 2) 分野別研修は各コースから2日分(3日分まで可)を選択とします。 3) 基本的に全学オープン化とします。 4) 閉講式は行いません。

平成26年度 神戸大学技術職員研修 集合研修・分野別研修コース概要一覧

2014.08.05

コース番号 日程	(分野)『テーマ』 集合場所/実施場所 (受講者定員)	内容概要【担当講師】
① 9/12(金)	(海)『加速器と放射光』 海事科学研究科 / 海事科学研究科 (15名担当含む ※コース②とセット)	・ 加速器 タンデムペルトロン加速器で加速された高エネルギーイオンを用いて、物質表面付近の元素分布を調べるRBS分析(ラザフォード後方散乱分析)を体験します。 ・ 放射光 ほほ光速で直進する電子が、その進行方向を磁石などによって曲げられた際に発生する電磁波を放射光と呼び、放射光の発生原理、放射光の利用事例を紹介し、放射光施設(SPRING-8)の見学を行います。 9/12(金)《講義・演習》 放射光の講義 講師:浅岡 聡 助教(自然科学系先端科学融合研究センター/海城環境教育研究センター、海事科学研究科兼務) 加速器の講義・演習 講師:古山 雄一 准教授(海事科学研究科)
② 9/16(火)	(海)『加速器と放射光』 海事科学研究科 / SPpring-8 (15名担当含む+若干名 ※原則としてコース①とセット)	9/16(火)《施設見学》 SPring-8 大型放射光施設(〒679-5198 佐用郡佐用町光都1丁目1-1) 【担当:野塚 勉夫 技術専門職員、鈴木 俊晴 技術専門職員、小川 宏樹 技術専門職員】
③ 9/18(木)	(医)『細胞診検査の実際』 医学部研究棟C 第4実習室/第2実習室 (15名程度)	《実習》細胞診検査は臨床検査の1分野で病理診断のひとつです。この検査は検体の採取が比較的容易で、患者負担が少ないなどの利点があり、子宮や肺などのがん検診などで行われています。午前には自分の検体を採取、染色して鏡検、午後は過去の陽性と判断された検体を鏡検し細胞診検査を体験してもらいます。 【講師:久保 雅生 技術専門職員、松本 修一 再雇用技術職員】
④ 9/30(火)	(医)『医療福祉に貢献するものづくり現場と 大学博物館の役割を知る』 JR神戸駅 / 各施設 (15名、担当含む)	《施設見学》日本最大の義肢装具製作工場を訪れ、医療福祉分野に応用されているものづくり現場を見学するとともに、本工場における安全・清潔な労働環境を目の当たりにする。また、午後からは大阪大学総合学術博物館に場所を移し、大学博物館所蔵の標本や顕微鏡等展示物の観察を通じて、大学博物館が果たす役割を知る。 ・(午前)川村義肢株式会社(大東市御領1-12-1) ・(午後)大阪大学総合学術博物館(豊中市待兼山町1-20) 【担当:藤 富義 技術専門職員】
⑤ 9/26(金)	(理)『セキュアな情報教育環境と通信基盤』 情報基盤センター本館 3階会議室 / 各施設 (10~15名担当含む)	《施設見学》学内で安心安全にネットワークを利用できるためのインフラや各システムなどの裏側の部分を本館計算機室で紹介する。さらに10月オープン予定の分館では、耐震改修工事で強いを変えた新たな学生の情報教育環境である演習室やラーニングコモンズ環境を紹介する。午後からは、昨今コスト削減、事業継続計画(BCP)対策及び構成員へのサービス向上のためにデータセンターへ学内の基幹業務システムやネットワークを移す事例が多いが、データセンターではどのように情報セキュリティ(機密性、完全性、可用性)を担保しているのか実際にNTT西日本の神戸データセンターを見学し、学ぶ。 ・(午前)情報基盤センター 本館、分館 ・(午後)NTT西日本データセンター(神戸市内) 【担当:北内 一行 技術専門職員】
⑥ 9/17(水)	(工)『土木構造物、建築物の先端技術を知る』 JR舞子駅改札口前 / 各施設 (15名担当含む)	《施設見学》巨大な土木構造物である橋梁と防災のための建築物という規模も用途も全く異なる建造物の視察を通し、今年のテーマである「安全」について考えたい。午前中から淡路島へ入り、「明石海峡大橋」を視察、主塔への塔頂を予定している。午後は南あわじ市福良へと移動し、「福良港津波防災ステーション」を視察。当施設の役割、兵庫県下の津波やその対策などについて学ぶ。 【担当:高瀬 孝志 技術専門職員、中西 智美 技術員】
⑦ 9/25(木)	(工)『最新のレーザー加工技術と雷テクノロジーを知る』 阪神 尼崎センタープール前駅 / 各施設 (20名担当含む)	《施設見学》レーザーを中心とした高エネルギー密度熱源を駆使した加工技術の研究開発・調査などを行っている「近畿高エネルギー加工技術研究所」を見学し、最新のレーザー加工技術についての知見を深めることを目的とする。「音羽電機工業株式会社 雷テクノロジーセンター」では、雷に関する試験設備・機器や雷ミュージアムの見学のほか、避雷器の効果を実験で確認し、雷の発生から雷対策製品の仕組みまで雷に関する種々のテクノロジーを学ぶ。 【担当:古宇田 由夫 技術専門職員】

⑧ 9/26(金)	(工)『プログラマブル多機能タイマーの製作』 工学研究科 情報知能実験室(D2-302)/同左 (9名)	《実習》全回路図に基づき理論の説明および使用部品の紹介をする。多機能タイマー製作では、圧電プザーの利用からSSR(ソリッドステートリレー)を使用することにより商用電源100VのON/OFFを可能にする。これにより、各種充電器や扇風機等の電気機器を開欠動作やモーター制御などを可能にできる。ワンチップマイコンをプログラミングし、任意の動作を設定する。 【講師:松本 幸 技術員、山本 大介 技術員、伊地知 武吉 再雇用技術職員】
⑨ 10/2(木)	(工)『救命士・応急手当講習』 自然科学研究科3号館 B-125演習室/同左 (20名担当含む)	《講習》事故や災害により傷病者が発生した時、その付近に居合わせた人が適切な応急手当を行うと、傷病者の治療経過に良い影響をあたえ、救命率が向上すると言われています。骨折や外傷などのケガに役立つ応急手当や呼吸や心臓が止まったときに必要な電気的除細動を含めた救命処置に関する知識や技術を習得します。本講習受講者には、神戸市消防局より修了書が発行されます。 【講師:神戸市消防局市民防災総合センター、担当:豊谷 知弘 技術専門員、熊谷 宣久 技術専門職員】
⑩ 11月中旬頃	(農)/作物系『農薬と土づくり』 食資源センター/各地校 (4~8名、内4名農学予定)	《施設見学》農業生産に農薬の使用は欠かせないが、取り扱いは容易ではない。そこで、農薬メーカーの工場を見学し、取扱い方法等の正しい知識を身につける。また、作物の生産に欠かせない土作りについて見聞を深め栽培に役立てる。 ・クミアイ化学工業(株)龍野工場(兵庫県たつの市揖保町山下555) ・JA全農兵庫 加西管理センター(加西市猪猪甲町字平野250番地の8)(仮) 【担当:樋爪 浩和 技術専門職員、小関 康史 技術員】
⑪ 11月中旬 ~下旬頃	(農)/果樹系『ブドウ、ナシの病害虫の防除と鳥獣対策』 食資源センター/各地校 (4~7名、内4名農学予定)	《施設見学》兵庫県農業技術センターおよび兵庫県森林動物研究センターの見学をおこない、対策と手段などについて学ぶ。 (仮)・兵庫県農業技術センター(加西市別府町) ・兵庫県森林動物研究センター(丹波市青垣町) 【担当:寛 重文 技術専門職員】
⑫ 11月中旬 ~下旬頃	(農)/畜産系『但馬牛(神戸牛)の飼養管理技術』 食資源センター/各地校 (7名程度、内5名農学予定)	《施設見学》但馬地方の肥育農家と繁殖農家および兵庫県北部農業技術センターの見学を行い飼養管理などについて学ぶ。 ・(詳細検討中) 【担当:田中 大輔 技術員】
⑬ 2月~ 3月上旬頃	(農)『(未定)』 食資源教育研究センター/同左	未定 【担当:寛 重文 技術専門職員】

※(分野)工:工学分野、農:農学分野、医:医学分野、海:海事分野、理:理学分野 ※担当/講師の下線は、複数の担当/講師がいるコースでの担当代表者を示す。